



▲平成28年8月に開催した「食べられる生き物を探しに行くツアー」



▲館長の八巻さん(左)と田澤さん(右)

農業をはじめとして、共に助け合いながら生活していた東部地域。しかし震災により生活が一変し、住民が顔を合わせる機会が少なくなったという声を聞くそうです。「地域の助け合いの心、その原点を忘れずに、いつでも人が集まり、交流する拠点があることが必要」と語るのには、館長の八巻さん。また、地域の役に立ちたいとさまざまな活動に取り組む方々が交流館を通じて出会い、新たな活動に発展することもあるそうです。

**せんだい3・11メモリアル交流館**  
地下鉄荒井駅舎内にあるせんだい3・11メモリアル交流館は、平成27年12月の部分開館以来、多くの方にご来場いただき、6月18日に来場者が10万人に達しました。

「キーワードは『交流』です。皆さんに『この場所があつて良かった』と思ってもらえる場にしたい。まずは、気軽に足を運んでほしい」と八巻さんは力強く話します。

**楽しみながら地域の魅力発見**  
自然環境に恵まれた東部地域では、地域資源を生かした生活文化が受け継がれてきました。「住民の方々の声に耳を傾ける中で、豊かな地域資源の存在を知りました。それがヒントになって生活の知恵を学び、体験する企画につながり、イベント当日も住民の方々に講師をお願いするなど協力いただいています」と話す職員の田澤さん。これまで、ずんだ餅を昔ながらの方法で作ったり、昔は貴重なタンパク源だったザリガニやイナゴを探しに行ったりと、さまざまな企画を行いました。住民の方々には懐かしい思い出として、他の地域から参加された方には新鮮な体験として、交流を深める機会になったそうです。

「ここには、当たり前の日常の暮らしがあつて、思い出もこの土地に根付いています。その思いを大切に、地域に向き合い、その魅力をこれからも発信して、新たな交流につなげていきたい」と田澤さんは今後の展望を語りました。

# 震災の経験を伝え、地域の言葉を紡ぎ、未来へつなぐ

東日本大震災から6年5カ月。市では、震災の記憶と経験や地域に対する思いを未来へつないでいくために、「震災遺構 仙台市立荒浜小学校」の整備や「せんだい3・11メモリアル交流館」の活動など、さまざまな震災復興メモリアル事業の取り組みを進めています。



## 震災遺構 仙台市立荒浜小学校

海岸線から約700メートルの位置にあり、校舎の2階まで津波が押し寄せた荒浜小学校。市では、この校舎を整備し、震災遺構として4月30日より公開しています。被災した学校施設の内部を常時公開するのは、東日本大震災の遺構としては初めてとなります。

## 津波の脅威を実感し、防災・減災意識を高める

荒浜小学校では、津波のすさまじい力により破損した1階の教室や、倒壊した2階のベランダ壁と鉄柵など、被災した校舎のありのままの姿を公開しています。さらに、一瞬にしてがれきで埋め尽くされた教室など被災直後の様子を伝える写真も展示。あらゆるものを巻き込み、破壊した津波の威力や被害の大きさを実感することが

できます。

また、荒浜小学校における地震発生から児童や地域の方々など320人が救助されるまでの経過を、映像や写真で紹介しています。津波の脅威を目の当たりにしながらも懸命に活動した地域の方々や教職員の見聞は、いつでも起こり得る災害への備えの大切さを改めて感じさせてくれます。



▲地震発生から救助までの27時間を証言をもとに振り返る映像

## 荒浜の歴史・暮らしを知る

震災前の荒浜地区では、歴史ある運河・貞山堀の周囲に約800世帯の人々が暮らしていました。



▲子供たちのアイデアが詰まった「ハッピーあらはま」計画画

その四季折々の豊かな自然に彩られた風景や人々の営み、そして小学校の142年の歴史を映像や写真で紹介しています。活気に満ちた地域のお祭りや子どもたちの笑顔あふれる学区民運動会など、人々が育んだ地域の歴史が身近に感じられます。さらに平成26年度に、小学5年生が荒浜の復興のために何ができるかを考え、「人が集まる荒浜」の実現を願って制作した「ハッピーあらはま」計画も展示。荒浜地区の方々の暮らしの記憶を伝えるとともに、今後への思いを未来へつないでいきます。

## 震災遺構 仙台市立荒浜小学校

- 所在地—若林区荒浜字新堀端32-1
- 開館時間—10:00～16:00
- 休館日—月曜日および第2・4木曜日（祝日の場合は翌日）、祝日の翌日（土・日曜日、祝日を除く）、年末年始、臨時休館日
- 見学は自由ですが、館内の案内が必要な方は事前にお知らせください
- 問管理事務所 ☎355・8517（受付時間—休館日を除く10:00～16:00 ※館内案内のため不在となる時間帯があります）



## せんだい3.11メモリアル交流館

- 震災の記憶と経験を未来や世界へ伝える拠点として、震災の被害状況や復旧・復興の歩みを紹介する常設展示、さまざまな視点から震災を伝える企画展示のほか、多彩な交流イベントも開催しています。
- 所在地—若林区荒井字沓形85-4（地下鉄荒井駅舎内） ☎390・9022
- 開館時間—10:00～17:00
- 休館日—月曜日（祝日の場合は翌日）、祝日の翌日（土・日曜日、祝日を除く）、年末年始、臨時休館日



※交流館の催しについては20ページをご覧ください

## 夏の荒浜に灯（あか）りをともそう

荒浜地区にお住まいだった方々が地域の夏の風物詩として震災後も続けてきた灯籠流し。同じ日の夜に荒浜小学校でも手作りの灯りをともします。

- 日時—8月19日(土)17:00～19:00
- 会場—震災遺構 仙台市立荒浜小学校

### 関連イベント

- 荒浜の海から拾った材料で作る灯り
- 日時—8月11日(祝)10:00～12:00・19日(土)14:00～16:00 ●会場—震災遺構 仙台市立荒浜小学校 ●直接会場へ

※その他にも関連イベントがあります。詳しくはお問い合わせください

問荒浜の灯り実行委員会事務局（荒浜小学校内） ☎355・8517



この特集に関するお問い合わせは、防災環境都市推進室 ☎214・1117、FAX214・8497